

後天性免疫不全症候群

毎年12月1日は世界エイズデーとなっている。そこで、千葉県で2010年から2015年47週に届出された343例の発生状況についてまとめた。

年別では、2010年59例、2011年57例、2012年51例、2013年72例、2014年58例、2015年1～47週に46例の届出があった(図1)。

性別は、男性303例(88.3%)、女性40例(11.7%)で男性に多かった(図1)。

類型別では、無症状病原体保有者177例(51.6%)、患者165例(48.1%)、感染症死亡者の死体1例(0.3%)であった(表1)。

病型別では、男性は無症候性キャリア155例(51.2%)、その他24例(7.9%)、AIDS 124例(40.9%)、女性は無症候性キャリア22例(55.0%)、その他3例(7.5%)、AIDS 15例(37.5%)であった(表2)。

年齢群別は、男性では20代から50代が273例(90.1%)、女性では20代から50代が38例(95.0%)であった(表3)。

図1 2010年～2015年47週千葉県の後天性免疫不全症候群 年別性別届出数 343例

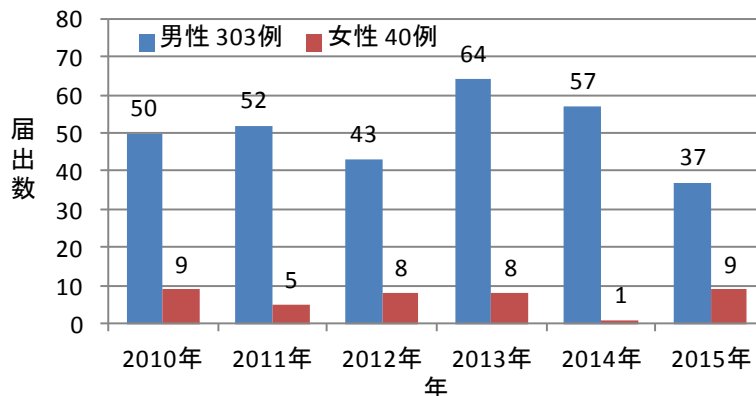


表1 2010年～2015年47週千葉県の後天性免疫不全症候群 年別類型別届出数

類型	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
患者	24	24	29	37	27	24	165
感染症死亡者の死体	1	0	0	0	0	0	1
無症状病原体保有者	34	33	22	35	31	22	177
合計	59	57	51	72	58	46	343

表2 2010年～2015年47週千葉県の後天性免疫不全症候群 年別性別病型別届出数

性別	病型	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
男性	無症候性キャリア	26	30	20	31	30	18	155
	その他	3	2	5	6	6	2	24
	AIDS	21	20	18	27	21	17	124
女性	無症候性キャリア	8	3	2	4	1	4	22
	その他	0	0	1	1	0	1	3
	AIDS	1	2	5	3	0	4	15
合計		59	57	51	72	58	46	343

表3 2010年～2015年47週千葉県の後天性免疫不全症候群 類型別年齢群別届出数

男性							女性						
年齢群	患者		無症状病原体保有者		合計		年齢群	患者		無症状病原体保有者		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%		届出数	%	届出数	%	届出数	%
10代	1	0.7	2	1.3	3	1.0	10代	0	0.0	0	0.0	0	0.0
20代	23	15.6	56	36.1	79	26.2	20代	1	5.6	6	27.3	7	17.5
30代	26	17.7	44	28.4	70	23.2	30代	7	38.9	8	36.4	15	37.5
40代	51	34.7	22	14.2	73	24.2	40代	3	16.7	4	18.2	7	17.5
50代	30	20.4	20	12.9	50	16.6	50代	7	38.9	2	9.1	9	22.5
60代	14	9.5	9	5.8	23	7.6	60代	0	0.0	2	9.1	2	5.0
70代	1	0.7	2	1.3	3	1.0	70代	0	0.0	0	0.0	0	0.0
80代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	80代	0	0.0	0	0.0	0	0.0
90代	1	0.7	0	0.0	1	0.3	90代	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	147	100.0	155	100.0	302	100.0	合計	18	100.0	22	100.0	40	100.0

※類型が感染症死亡者の死体1例(40代)を除く

AIDS患者139例のうちAIDSと診断した指標疾患として報告されたのは、ニューモシスティス肺炎79例(56.8%)、カンジダ症49例(35.3%)、サイトメガロウイルス感染症22例(15.8%)、HIV消耗性症候群12例(8.6%)、カポジ肉腫7例(5.0%)、HIV脳症6例(4.3%)、クリプトコッカス症4例(2.9%)、活動性結核4例(2.9%)、反復性肺炎4例(2.9%)、進行性多巣性白質脳症3例(2.2%)、トキソプラズマ脳症2例(1.4%)、化膿性細菌感染2例(1.4%)、単純ヘルペスウイルス感染症2例(1.4%)、クリプトスポリジウム症1例(0.7%)、非結核性抗酸菌症1例(0.7%)、原発性脳リンパ腫1例(0.7%)、非ホジキンリンパ腫1例(0.7%)であった(複数報告あり)。

感染原因・感染経路としては推定されたのは、男性では性行為感染244例(同性間性的接触160例、異性間性的接触97例、性的接触4例)、静注薬物使用5例、刺青2例、不明56例、女性では性行為感染26例(異性間性的接触25例、同性間性的接触1例)、海外での輸血1例、不明13例であった(複数報告あり)。